

TDKの事業と社会的責任の認識

TDKは1935年、磁性材料フェライトの工業化を目的として創業いたしました。以来70年以上にわたり、フェライトを源流とする素材技術、その素材の特性を引き出すプロセス技術、評価・シミュレーション技術を展開し、独創的な価値ある製品を開発、提供してまいりました。これらのコア技術をナノテクノロジーで進化させるとともに、「情報家電」、「高速・大容量ネットワーク」、「カーエレクトロニクス」の3分野に経営資源を集中。加えて現代

社会においてCSRの重要性がますます高まっていることを受け、企業活動に社会的公正性や環境への配慮などを積極的に採り入れ、社会の一員としての義務を果たすことに取り組んでいます。そして持続可能な社会に貢献する企業として、企業価値の向上に努めてまいります。

成長3分野に経営資源を集中

● 情報家電

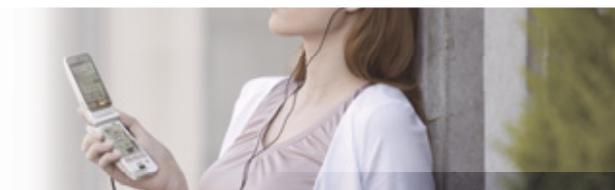
Flat-Panel Displays & DVD/HDD Recorders

大きな進化を遂げた薄型テレビ。その発展の裏には「より小さく、より高性能」を追求する電子部品の絶え間ないイノベーションがあります。伝送帯域を6GHzにまで拡大したHDMI用コモンモードフィルタや、1個のトランスで複数の冷陰極管を駆動するインバータユニットなど、TDKの電子部品はテレビの薄型化・高機能化に貢献しています。



● 高速・大容量ネットワーク

高機能・多機能化するモバイル機器。想像を超える性能の実現に、TDKの技術が活かされています。高機能化に伴って重要度を増すノイズ対策部品やバッテリー消費を低減する可視光センサなどがモバイル機器の進化に貢献。ノートPCの世界では、HDDの大容量化をはじめ、チップバリスタや電源系コイルなどで、高機能化を支えています。



Cell Phones & Portable Audio

Personal Computers/Blu-ray Disc



● カーエレクトロニクス

“走るコンピュータ”化が進む自動車。ここでもTDKの製品は活躍しています。耐熱性チップコンデンサや、車載LAN規格であるCANの差動伝送信号からノイズを除去するコモンモードフィルタなど、高信頼性の製品を提供。また、ハイブリッド車用DC-DCコンバータやネオジウムマグネットは世界トップレベルの性能を発揮しています。



Automobiles & Car Navigation